



2018年5月30日(水)  
第7号  
発行 校長 東 明彦

グラウンドで、キックベースボールを楽しみました。フェンスの角をバックネットにして隅をうまく使ってボールゲームをしました。ダブルプレーがあったり、エラーがあったりで、楽しいゲームができました。これもボランティア活動のおかげだと喜んでます。今後も、図書整備(読み聞かせボランティア)、運動会補助、授業ボランティアとお世話になりますが、どうぞよろしく願いいたします。

## 学校ボランティア ありがとうございます

5月18日(金)に説明会をおこなった学校ボランティアの活動が始まりました。28日(月)には、5名のお母さん方に学校にお越しいただき、グラウンドの草刈り作業を行っていただきました。早朝から強い日差しの中、1時間以上にわたって作業をしていただき、芝刈り機などでは刈れない、フェンス際やサッカーゴールの周辺を大変にきれいに刈っていただきました。切れの悪い剪定バサミが多くて申し訳なかったのですが、いろいろと工夫して作業をしていただいたおかげで、グラウンドがとてもすっきりとしました。本当にありがとうございました。

この日は、月曜日のクラブ活動がありましたが、3年生以上の児童生徒たちは、芝刈りをしていただいた



## 避難訓練 不審者の対応として

5月25日(金)には、在スイス大使館から担当の方にも来ていただき、また、補習校の長森校長先生にもお越しいただいて、2時間目の途中から「不審者が裏口から校内に侵入しようとしている」という状況を想定して、避難訓練をおこないました。現在設置している防犯カメラをフルに活用しながら、各教室ではロックダウンをして、学校全体をパニックルームとする、児童生徒の安全確保を第一に考えての訓練でした。

途中、教室からの連絡が届かなかったということもありましたが、気転を利かした対応ができ、不審者を確保したとの連絡をまって、全員が想定避難場所に集まることができました。担当の教員からは、安全を確保するためには「いかのおすし」が大切だという話をして、全員で改めて確認をしました。

- ① 知らない人について**い**かない。 ② 知らない人の車には**の**らない。 ③ 危険なときには**お**おきな声を出す。 ④ 危ないところからは**す**ぐに逃げる。 ⑤ **だ**れかに**し**らせる。という5つのポイントです。

これは特に登下校時の安全を確保するための心構えとして必要なことです。

また、危険なことは、いつ・どこで・どのようにして起こるかは分かりません。突然起こる危険なことにも、まずは自分の身を守ることを第一に考えて、行動できるように日頃から心構えをつくっておくことが大切です。大きな物音やアラーム、自分の身の回りの変化に気がいたら、まずは身を伏せて、身を隠し、すぐにその場から逃げるのが何より大切です。自分の命は自分で守る、という気持ちも大切です。避難訓練はあくまでも練習ですが、その練習をしてみて初めて気がつくこともあります。そして、実際に身を守る行動をやるのが何より大切です。大使館の担当の方からはそのようなお話をしていただきました。

危険を回避するためには、過去の事例から学ぶ以外に方法はありません。しかし、学んだからと言って、その知識や行動がそのまま生かせるかということ、実際には全く違った状況に出会うことの方が多いと思います。だからこそ、訓練で心構えをつくっておくこと、知識と行動とを結び付けて経験しておくことが大切だと思います。その時と場に応じた、訓練とはまったく違った行動をとらなければならないことも想定しながら、基本をしっかりと体験すること、それが避難訓練の意味だと考えています。

# 運動会の練習が始まっています

朝の授業前の時間や授業後の時間を上手に使って、「ドーン、ドーン、ドドンがドン、ドンドンカッカッ」といった声が教室から聞こえてきます。児童生徒たちは、6月9日（土）に予定されている運動会の太鼓の練習に余念がありません。相当長い太鼓のリズムを何度も練習しながら、腕や体が自然に動くようになるのを目標に練習をしています。私たちからすると、よくあんなに長いリズムを間違えないで覚えられるなあと感じますが、児童生徒たちは楽しみながら覚えているようです。その分、覚えるのもとても早いです。

太鼓の曲目は、三宅太鼓・龍神太鼓・黒潮ばやし・組太鼓①・J S太鼓の5つになります。当日は、児童生徒たちの演奏を存分にお楽しみいただければと思います。

また、体育の時間を使って、棒引きやリレーの練習も行っています。ここ数日かなり暑い日がありましたが、暑さにも負けないで練習している姿はたのしいです。

## 全国学力・学習状況調査の実施

毎年日本の小中学校を対象として行われている「全国学力・学習状況調査」を本校でも実施しています。日本では既に4月に実施済みですが、日本人学校まで問題用紙や解説が届いたのは5月の中ごろでした。

実施学年は小学部6年と中学部3年、教科は国語・算数、数学・理科の3教科と児童生徒質問紙の調査です。

日本では、時間差が出ないように一斉に1日かけて一度に問題を行います。本校では各教科の授業時間を活用して行います。文部科学省では、この調査の目的を、

◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

としています。本校では、学校全体の学習状況の把握というより、個別の学力の状況を把握し、目ざす学力が定着しているか、課題は何かといった内容を確認する意味で実施します。

日本の状況との比較や正答率が高い低いという観点から見るのではなく、この調査が求めている学力や、知識だけではない思考力・判断力・表現力等が身につけているかどうか、といったことを大切な要素として評価していきます。

マークシートでの解答になれることや、知識だけではない考える力を見るための問題になれることも大切だと考えています。

最終的には、調査問題を受検した児童生徒一人ひとりの学力状況の特徴や質問紙で目立った点などについては、個別懇談会等で連絡する予定であります。保護者の皆様のご理解をお願いいたします。

【熟字訓読みの解答】 ①くだもの ②いちじく ③あじさい  
④あずき ⑤キムチ ⑥トマト ⑦バナナ ⑧ひじき ⑨ほおずき  
⑩パイナップル

## 漢字検定本の紹介

日本語補習校の先生方とも相談して、児童生徒が漢字検定を受けたい場合に参考になるようにと、漢字検定本を図書室の前の棚に展示しています。10級から2級の教本がそろっています。また、準1級や1級の検定に対応した漢検漢字辞典も展示しようと考えています。

漢字を使った熟語や四字熟語、故事成語などには、日本が長い時間をかけて培ってきた文化や精神性の源があるように思います。熟字訓なども意外な読みや意味があって楽しいですね。子どもさんと幾つ読めるか、クイズもいいかもしれません。

- ① 果物      ② 無花果      ③ 紫陽花  
④ 小豆      ⑤ 沈菜      ⑥ 蕃茄  
⑦ 甘蕉      ⑧ 鹿尾菜      ⑨ 鬼灯  
⑩ 鳳梨

中学校で学ぶ常用漢字音訓表の熟字訓から見慣れない漢字まで出してみました。解答は下の欄をご覧ください。こういった言葉も、日本の文化の一つだと思います。

## 学校菜園 育っています！！

各学年の生活科や理科の授業の一環として、プランターや畑に植物を植えています。ジャガイモやトマトなど、どの菜園でも、



毎日見るたびに大きくなってきています。収穫の時期が楽しみです。左の写真は、学校の裏口近くの白い大きなプランターの様子です。